

科名 血液内科
 対象疾患名 再発急性前骨髄球性白血病
 プロトコール名 JALSG APL205R 移植前処置

血内-137

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3
	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて		↓	↓	↓							
1	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖	0.8mg/kg/回 100mL	2時間かけて 4時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする			↓	↓	↓						
2	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖	0.8mg/kg 100mL	2時間かけて 10時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする			↓	↓	↓						
3	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖	0.8mg/kg 100mL	2時間かけて 16時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする			↓	↓	↓						
4	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖	0.8mg/kg 100mL	2時間かけて 22時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする			↓	↓	↓						
	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて								↓	↓		
5	CV	側管	アルケラン 生食	70mg/m ² 100mL	30分かけて					↓	↓					
			幹細胞輸注 G-CSF										↓			↓

1コース=11日間

～MEMO～

〈ブスルフェクス〉

- ・ブスルフェクスを、10倍量の生食、又は5%ブドウ糖液で希釈する。
- ・調整後は8時間以内に投与終了。
- ・痙攣予防として、フェニトインを1回 100mg 1日3回 内服する。
- ・60才以上、または肝障害のある患者は0.7mg/kgに減量

〈アルケラン〉

- ・1vあたり専用溶解液 10mLを加え激しく振盪して完全に溶解する。
- ・調整後は90分以内に投与終了。
- ・調整後の溶液は、沈殿することがあるので冷蔵しないこと。
- ・60才以上、または不整脈、腎機能障害のある患者では70%doseに減量を考慮する